

サーバス東海北陸支部 会報

2019年10月27日

日本サーバス東海北陸支部長

NS

サーバス東海北陸支部の皆様

10月19日に長野の諏訪市のEPSON厚生年金施設で支部会を開きました。折からの台風19号で長野の千曲川が氾濫し、流域の被害が甚大であるというニュースを聞いていたため大変心配していましたが、諏訪湖の周辺は被害がなかったようでほっとしました。それにしても最近「気候変動」(climate change)から「気候危機」(climate crisis)と名称も変わるくらいに、年々災害が激しくなっています。世界のリーダーも環境保護に逆行する人も増えています。子や孫の世代が安心して暮らせる地球を残すためには私たちは何をすべきでしょうか？

① 長野の支部会の報告

* 長野の支部会には11名の方が参加してくださいました。そのうち5名は長野のメンバーです。今年議員になられたOさんが上諏訪駅まで迎えに来てくださって、恐縮でした。お忙しい中、ご主人がつってこられたイサキの刺身まで差し入れしていただきました。またKさんはワカサギのから揚げを作って持ってこられたり、Dさんはシフォンケーキを焼いて差し入れしてくださったり、ランチに花を添えていただきました。



* 2019年度は会員数36名、新入会員は3名、Dさん(愛知)、Tさん(三重)、Yさん(三重)です。

* 今年の例会は1月伊勢市で11名の参加、6月のあいち健康プラザでの移動例会は14名の参加でした。

* 3月の国内会議で、四国中国支部の支部長が交代、サーバス本部の3役を2019~20年度は近畿支部が担当、2021~22年度は東海北陸支部が担当予定。2021年3月に国内会議、また同年にポルトガルで国際会議が予定されています。

* 7月のモンゴルでの東アジア会議について、参加されたKさんからの報告。モンゴルの会員数は少ないながら、熱心に活動。参加国は4か国(モンゴル、台湾、韓国、日本)で、この会議の必要性を次回の台湾での東アジア大会で話しあう予定である。

* 2021年度本部と支部の役員の内(案)

本部—会長：N、副会長：Kさん、会計：Mさん

支部—支部長：Tさん、副支部長：Kさん、会計：Oさん、会計監査：Tさん

* 次回の支部例会の予定

2020年1月18日【土】小牧市の施設「ラピオ」名鉄小牧駅西口 13:00~

* サーバス旅行、受け入れの経験談

Hさん：イラン旅行—怖いイメージがあるイランだが、イラン人はとても人懐っこい。公園で出会った人に家に誘われて、ランチをいただいた。

Fさん：今回の旅のテーマ「生命の始まりと自分の死」アメリカ、カナダを2か月にわたりレンタカーで移動。イエローストーンで熱水の周りにシアノバクテリアを発見。人類の起源。地球は自分の母であることを実感。

Oさん、Tさん：ポルトガルの旅行記を後半に掲載しています。

② 会議後は地藏寺の庭園めぐりと造り酒屋「真澄」とギャラリーの花の絵を鑑賞しました。



③ Tさんによるポルトガル旅行記

Oさんと二人でポルトガルを12日間旅行してきました。

地中海性気候の為、雲一つない青空の晴天が毎日続きました。

どうしてポルトガルへ？と何度か現地の人達に聞かれました。何年も前から一度行ってみたい国だった、と答えましたがどうも自分でもよくわかりません。ヨーロッパの西の果て？はどんなだろうという素朴な好奇心かもしれません。その昔、種子島に鉄砲を伝えた事など諸々歴史で学んだ国であったからかもしれません。

サーバスステイは2軒、そしてデイホストが2人。

一軒はご主人を一人リスボンに残して年上の従兄弟(70代)と二人で田舎暮らしをしているIさん。もう一軒のステイは街の家具屋さんでお兄さん夫婦と同じ建物内に同居のCさん。彼女の家はポルトガル北部にありスペインとの国境まで8キロの所。サーバスのミーティングには国境近くのスペインサーバスメンバーも気軽に参加するのだそうです。島国に住む私達には少しわかりにくいのですがそんな風に国境を越えてサーバス同士が仲良くするのも素敵だと思いました。2家族ともに従兄弟と住んだりお兄さん夫婦と一緒に住んだり家族の形態も様々でした。でもどちらの家族もうまく家族同士の距離を保ち、私達ゲストに対しても皆で夕食を囲み真心をつくして下さいました。私のサーバス経験の中でも一番とっていいくらいのホスピタリティーでした。

どちらの家でも二泊目は日本から持ち込んだてんぷら粉で私達が野菜の天ぷらをごちそうしました。天ぷらは実は本家はポルトガルでその昔フランシスコ・ザビエルが日本にキリスト教を布教した折

に伝えたもので、いわば、本家帰り？です。今もポルトガルにもテンプラという料理があるそうですが私たちの天ぷらとどう違うのでしょうかね(^_^)。

その後、コインブラにてIに紹介してもらったデイホストに会い夕食を共にしてホテルにて一泊。翌朝、一路、南下して南の海岸線近くに住むEさんに会いに行きました。リスボンから彼女の住むLagoaまでの3時間あまり、バスの車窓の景色はしばらく家が一軒もなく荒野？にバオバブのような木々が生えていて今までに見たことの無い景色でした。

ポルトガルは土が赤く、その土からできた瓦はオレンジ色で白い壁にマッチしてとても異国情緒を醸してくれます。でもその土はあまり植物の生育には適さず、しかも夏場は雨がほとんど降らないので日本には無い植物が生育していたのだと思います。今回、九州ほどの小さな国をバスで北から南まで移動して植物や家の形態が少しずつ違うのを見つけるのも楽しいひとときでした。

Eさんとは夕方6時くらいにバスターミナルで会いましたがその後すぐに素晴らしい海岸線の夕日を見に連れて行ってくれました。この海の向こうはもうアフリカ大陸かと思うと何だか涙ぐむような気持ちになりました。

出会ったホスト達が皆、開口一番、日本に是非行きたい！とっていました。

ヨーロッパ大陸の西の端の国はどんなだろう、と私が思ったのと同じように彼女達は東の果て？の島国はどんなだろう、と思っているのかもれません。

日本とポルトガルは遠くて近い国のような気がします。人々の気質が穏やかで食べ物の類似点多々ありました。彼女達が日本に来たら同じようにホスピタリティーのお返しをしようと今、思っています。

T. R.

④ 会計の0さんよりお知らせ

2020年からサーバス東海北陸支部への振込先（省略）の変更

以前紹介した口座は通知に1回200円かかるため使用しないことにします。

発行者 東海北陸支部長 N. S.
nerudasuwa@yahoo.co.jp